



並木中等story

令和3年1月8日号②

1月8日の全校集会での講話のつづきです。

●**第2の習慣はゴールを思い描いた行動をとる**ことです。皆さんのゴールはどうでしょうか。大学合格をゴールにするだけでは十分ではありません。並木中等では、日本のリーダー、世界のリーダーたる人を育てています。大学合格はあくまでも通過点です。将来を見据えたゴールを思い描いてください。

●**第3の習慣は最優先事項を優先する**です。行動には4つの領域があります。1つ目は緊急であり重要なもの、第1領域といいます。2つ目が緊急でないが重要なもの、第2領域といいます。3つ目が緊急だが重要でないもの、第3領域といいます。4つ目が緊急でなく、重要でないもの、第4領域といいます。

●大切なものは緊急なものと思いがちなのですが、**第2領域の緊急でないが重要なものに当たる時間を増やす**ことが大事になります。自分の将来やスキルアップ、重要な人の関係強化などの時間を増やせるようにする。重要でない仕事や行動は省く努力、時間のコントロールを普段から心がけることいいのです。

●**第4の習慣はWin-Winの関係を築く**です。自分だけが得するのでは、その関係は長続きしません。互いが伸びることが良い関係を長続きさせるポイントです。思いやりと勇気で、自分だけが得するような幸せを越えてもらいたいと思います。

●**第5の習慣は理解に徹し、理解される**ことです。友達といっても、人の話を聞かずに自らの考えを話してばかりしている人はいませんか。かつて、私はそのようでした。人は自らの思いを聴いてもらえた後でないと受け入れないところがあります。傾聴ともいいますが、まずは相手の言い分を聴くことを大切にしてください。

●**第6の習慣はシナジーを作り出す**ことです。これは12月の集会でも話しましたが、皆さんが得意な分野です。お互いのリスペクト（尊重）のもと話し合いをすると、2人の能力以上の高度なアイディア（シナジー）が生まれるというものです。この場合、お互いのリスペクトがとても大切になります。

●そして、**第7の習慣が1～6の習慣を磨く**ことです。自らの体、心、知性、人間関係を磨くというか、原則に沿ったものにしていくことです。

●まとめです。成功する、充実した人生を送るには、習慣を変え、人格を磨くこと。人としての原則に沿ったものに視点を換えることが大切ということになります。

●大急ぎで話をしたので、良く分からなかった人も多いと思います。興味をもった人は書店で『7つの習慣』関連の本がたくさん出ていますので購入して読んでください。